

新潟大学広報誌  
Niigata University  
Campus Magazine

新大広報

# Campus forum

no.155 2005\_3月号

— 卒業 —

— 修了 —

— 退任 —



# 卒業制作

— 教育人間科学部 —

— 大学院教育学研究科 —



洋画

## HER LIFE

阿部育子

スプーンをもってご飯を食べる祖母を見て、「生きている」ことを実感したのがこの絵を描こうと思ったきっかけでした。この作品で生命観・死生観が表現できればいいなと思いました。見てほしいところは、祖母の顔のしわです。表現するのに一番苦労しました。

この作品づくりを通して、施設に入ってから交流が少なくなっていた祖母とのコミュニケーションが増えました。大好きなおばあちゃんを書いているというのが作品づくりの一番のエネルギーになりました。

また、「内野deアート」というイベントのときに、一つの小路に面する各家に家紋の入ったのれんをデザインし、飾らせていただきました。学生時代の楽しい思い出の一つです。

### ■表紙

## 骨・化・石

大理石

市川香苗

海で骨を見つけたときに、その美しさに感動して、この作品を構想しました。もともと大理石で作品づくりをしたいと考えていたので、大理石と骨の質感がリンクしたんです。

大学4年間では、作品づくりに対して未消化でした。この「骨・化・石」の作品は、6年間の集大成として、とても満足しています。在校生のみなさんも、他人からの評価を恐れず、自分の表現したいことを思いっきり表現してください。



日本画

## 黄色い信号

久納紹子

とにかくおもしろいことを描きたいというのがありました。日常や何気ないことでもちょっと視点をかえるとおもしろくなるというのを表現できればいいと思いました。

普段、お笑いなど笑えるもの、おもしろいものが好きなので、その感覚で、見る人に美術をもっと身近に感じてほしいですね。学生時代は、音楽サークルと美術制作の両立が難しかったです。音楽サークルは、みんなでわいわい騒いで楽しいのですが、反面、美術はストイックで自分と向き合う必要がありますからね。今後の進路として、大学院も考えているので、もっと美術に力を入れていきたいです。

## 新大広報 Back Number

▼▼▼ 151号 ▼▼▼  
〈新大での思い……〉

▼▼▼ 152号 ▼▼▼  
〈新生活応援〉

▼▼▼ 153号 ▼▼▼  
〈Open Campus〉

▼▼▼ 154号 ▼▼▼  
〈可能性への挑戦〉

バックナンバーが欲しい方は、学務部学生生活支援課まで受け取りに来て下さい。新大広報のバックナンバーは、

<http://ksws1.ge.niigata-u.ac.jp/kouhou/index.htm>

でも見るすることができます。大学の魅力を先輩たちが語っています。ぜひ、どうぞ。

## 新潟大学広報誌 CampusForum 学生編集委員募集

問い合わせ先 ● 学生生活支援課 (262-6089) または各学部の広報委員まで。

### 広報委員会第1部会

● 部会長・編集委員長	寺田 真人 (歯医学総合病院)	Tel 227-2975	tera@dent.
● 委員	石坂 妙子 (教育人間科学部)	Tel 262-7116	ishizaka@ed.
	岡田 昌浩 (法学部)	Tel 262-6545	okada@jura.
	柳 喜重郎 (経済学部)	Tel 262-7660	yanagi@econ.
	徳江 郁雄 (理学部)	Tel 262-6112	itok-pc@chem.sc.
	牛木 辰男 (医学部医学科)	Tel 227-2058	t-ushiki@med.
	川瀬 知之 (歯学部)	Tel 227-2927	kawase@dent.
	新保 一成 (大学院自然科学研究科)	Tel 262-7543	kshinbo@eng.
	崎村 建司 (脳研究所)	Tel 227-0619	sakimura@bri.
	岩本 義男 (学務部長)	Tel 262-6080	iwamotoy@adm.

● 事務局 (学務部) Tel 262-6089 Fax 262-7516 korisi@adm.  
(E-mailのアドレスは、niigata-u.ac.jpの表記を省略しています。)

● 新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

この広報は再生紙を使用しています。

編集

発行

新潟大学広報委員会  
新潟大学学務部

印刷

株式会社 博進堂